

# 避難所における被災者の健康と安全確保のための設備等改修技術の開発

(研究期間：平成29年度～)



建築研究部 設備基準研究室 (室長 (博士(工学))) 平光 厚雄 (主任研究官 (博士(工学))) 山口 秀樹

(キーワード) 避難所、健康、安全、建築設備

1.

防災・減災・危機管理

## 1. はじめに

巨大地震が発生し、避難所生活が長期間に及んだ場合、精神面も含めた健康被害防止と安全確保のために、避難所の住環境改善手法の整備が必要となっている。避難所の設置にあたっては、地域性など個々の事情に配慮する必要もあり、既存の避難所の指針等では、具体的な整備・改修方法について十分な情報が得られないことがある。

これらに対応するための研究開発を平成29年度から実施している。本報では、研究の概要、実際に被災した避難所の実態調査結果、問題点等に関する文献調査結果等の成果について紹介する。

## 2. 研究概要

本研究は、避難所の住環境として、トレ・衛生環境、プライバシー、音・温熱・光環境性能などを確保する具体的な手法や改修技術を提示することを目的としている。

今年度は、避難所として多く利用される学校施設における設備の普及状態や、各種設備のメリット、デメリットを鑑みて、建築設備の災害対応技術に関して収集した情報を活用し、「日常生活に近いレベル」、「過去の避難所事例に同程度のレベ

ル」、「重大な健康被害が生じない最低限のレベル」の生活環境の3段階のレベルの目標水準の整理を行った。目標水準(案)のイメージを図1に示す。

## 3. 今後の展開

地方公共団体の担当者等へのこれらの目標水準の妥当性などに関するヒアリングを実施するとともに、避難所の健康確保等に関するマニュアル原案として取り纏める予定である。各自治体の状況、災害想定を考慮し、災害対応マニュアルへ反映されることで、避難所生活における身体的・精神的健康被害の軽減に貢献することが可能であると考えられる。

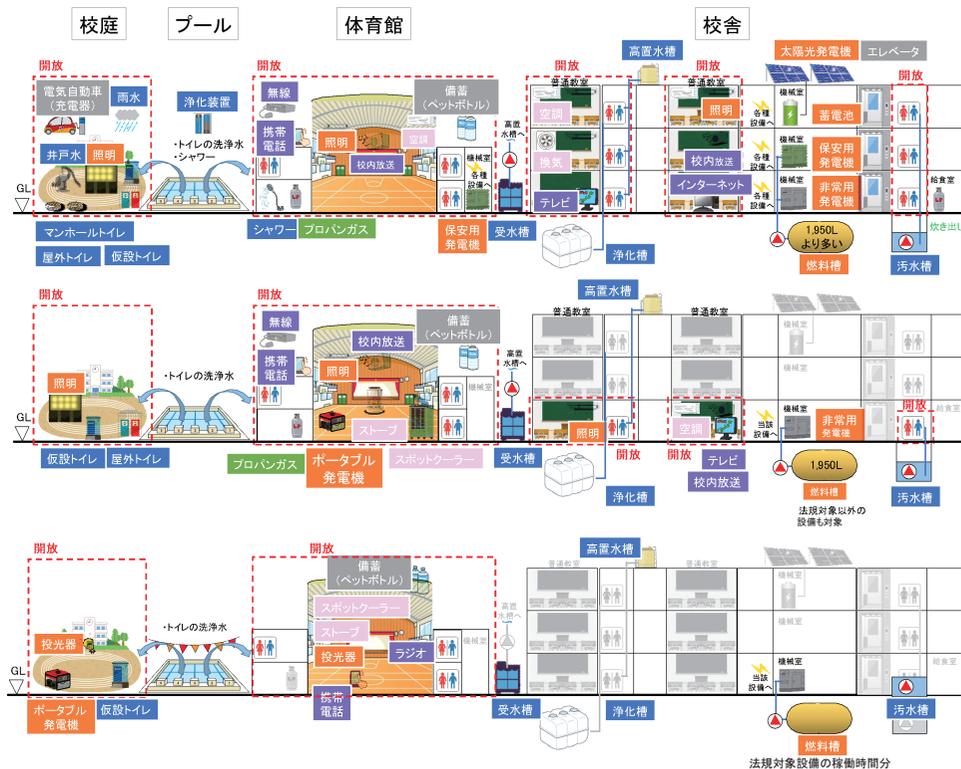


図1 避難所における生活環境目標水準のイメージ

(上：日常生活に近いレベル、中：過去事例と同程度のレベル、下：最低限のレベル)